

◆ はじめに～この本を手に取られた皆さんへ	2
◆ 略語一覧	7

第1章 心エコー図検査、その前に

秘伝1 心エコー図検査を進めるときに ～小さな工夫、大きな成果	12
------------------------------------	----

第2章 胸痛疾患をみるコツ

秘伝1 胸痛疾患の心エコー ～診断は、プローブを当てる前から始まっている	36
---	----

秘伝2 胸痛の救急エコー ～必要最小限を迅速に	43
----------------------------	----

秘伝3 急性冠症候群の心エコー ～診断の基本は胸痛の有無と局所壁運動で	47
--	----

秘伝4 基本断面での冠動脈の走行 ～局所壁運動を理解するための解剖学	54
---------------------------------------	----

秘伝5 急性心筋梗塞 ～壁運動異常が冠動脈の解剖に一致して出現する	68
--------------------------------------	----

秘伝6 急性心筋梗塞でのショック、心不全 ～広範囲梗塞が最も多く、稀に機械的合併症もある	90
---	----

秘伝7 大動脈解離 ～診断は症状などから可能性を思いつくことで始まる	103
---------------------------------------	-----

紹伝8	肺血栓塞栓症	119
～突然発症の呼吸困難・胸痛と心エコーの右室負荷所見が特徴		
紹伝9	たこつぼ心筋症と心膜炎・気胸	135
～「典型的な」たこつぼ心筋症だけがたこつぼ心筋症ではない		

第3章 心不全を見るコツ

紹伝1	心不全とはどんな病気なのか	154
～まずは病態をしっかり理解しよう		
紹伝2	心不全の重症度を評価する	175
～NYHA分類, Killip分類, Forrester分類, Nohria-Stevenson分類		
紹伝3	左室収縮能を評価する各指標を理解しよう	188
～なぜ左室駆出率だけではいけないのか		
紹伝4	左室収縮能の新しい評価法	205
～GLSを日常臨床で使ってみよう		
紹伝5	左室拡張能の評価はなぜ難しいのか	220
～各指標の意味と使い方を理解しよう		
紹伝6	左室拡張能の各指標の計測のしかた	240
～もう一度拡張能指標をふりかえってみよう		
紹伝7	心房細動での心機能をどう評価するか	250
～やっかいだけど避けてはいられない		
紹伝8	右心系をどのように評価するか	256
～目立たないけど大事な右心系		
紹伝9	心エコーから心不全をどう読むか	277
～急性心不全ではここを見ろ！		
紹伝10	心エコーのためのFrank-Starlingの法則	285
～古典的？でも心不全診療には必須！		
紹伝11	心不全を解釈するための左室圧-容量曲線(P-Vループ)	302
～基本をおさえれば心不全はもっと理解できる		

秘伝12 心エコーでの心不全診断の手順	324
～急性心不全の病態が2分でわかる！	
秘伝13 左室圧-容積関係 (P-V ループ) から心不全を読み解く	337
～心エコーで心不全をより深く理解しよう	
秘伝14 心不全における弁膜・心膜・右室の影響	347
～これだけは絶対におさえておこう	
秘伝15 心エコーによる心不全診断の実際	384
～実例でみる心不全の心エコー	

付録

付録1 心エコーの基準値	401
付録2 人工弁の有効弁口面積 (EOA)	405
◆ 索引	407